

# 令和4年度 研究計画

## 1 研究主題

進んで学習する子どもの育成  
～ICTの活用による授業づくりを通して～

## 2 研究主題の設定について

本校でも、GIGAスクール構想によって1人1台端末が整備され、電子黒板や書画カメラ、デジタル教科書が全校に整備され、学びの場でのICTを活用した教育が始まって1年近くが経った。子どもたちの学習への意欲は確実に高まってきている。

昨年度から、算数科を中心として、ICTを授業に効果的に活用して進んで学習する子どもの育成を目指して研究を進めてきた。

様々な場面でICTを効果的に活用することができることが分かった。一番効果的だったのは、見通しを提出する場面と、考えた過程を順を追って再現しながら説明する場面だった。ICTを活用することで、問題を自分事として捉えることができた。また、考えを再現しながら説明することで、考えた過程に焦点をあてることができ、みんなで創り上げていくというイメージで授業に臨むようになった。「タブレットPCや電子黒板に書きながら説明してくれるとよく分かる」と感じていた子どもも多かった。デジタル教科書やジャストスマイルのノートをうまく活用することで、何とか自力解決できる子どもが増え、県学習状況調査の算数は、全学年で県平均通過率を上回ることができた。

ICTを学習ツールの一つとして活用させたいと考えていたのだが、みんなが使っているからICTを活用する方法を選択した子どもがいた。具体物を活用して考えた方が分かりやすい場合も多いのに、自分に合った自力解決の方法を正しく選択できていなかった。自分にふさわしい方法を選択できる子どもを育てることが課題として残った。また、教師の中でも、子どもが学び考えるためのツールとしてよりも、教師が教えるためのツールとして使っている場合が多い。

今年度は、算数科だけではなく、全教科において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、進んで学習する子どもの育成に取り組む。個別最適な学びの成果を協働的な学びに生かし、更にその成果を個別最適な学びに還元することができるように、ICTを活用した教材や学習活動を工夫し、効果が上がっているか確認しながら授業改善を図っていく。本校の目指す子ども像に必要な資質・能力は、ICTの活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実することにより、より育成が図られるとも考える。タブレットPCや電子黒板等の特性を生かして効果的に活用し、考えた過程を説明したり、思考ツールを用いて一緒に考えたりしながら、よりよい考えを創り上げ、理解を深めていきたい。

## 3 「進んで学習する子どもの育成」を図る二つの柱

個別最適な学び：「指導の個別化」と「学習の個性化」を学習者の視点から整理した概念

指導の個別化...一定の目標を全ての子どもが達成することを目指し、個々の子どもに応じて異なる方法で学習を進めること

学習の個性化...個々の子どもの興味・関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げること

協働的な学び：探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働しながら、あらゆる他者を価値のある存在として重視し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることのできるような資質・能力を育成すること

## 4 主体的・対話的で深い学びの視点から期待する子どもの姿

- 自ら問題を発見し、見通しをもって進んで考える子ども（主体的な学び）
- 自分の考えをもち、対話を通して考えを深め合う子ども（対話的な学び）
- 身に付けた知識・技能を活用し、課題を解決する子ども（深い学び）

## 5 研究仮説

「主体的・対話的で深い学びの視点」からの授業改善の中で、ICTを効果的に活用することにより、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化が図られ、進んで学習する子どもの育成につながるだろう。

## 6 検証方法

- (1) 諸調査やアンケートの結果から子どもの変容（成果と課題）を捉える。
- (2) 授業研究会等で見いだした子どもの姿から子どもの成長を捉え、評価する。
- (3) 情報活用能力（研究2年目：操作スキル）の到達目標を設定し、評価する。

## 7 研究の重点（授業改善の重点）

- (1) 主体的な学びの視点から...
  - ・問題を自分事として捉える手立ての工夫
  - ・多様な学びの選択肢の提供
- (2) 対話的な学びの視点から...
  - ・友達の考えを理解し、比較・検討する手立ての工夫
  - ・目的に応じた適切な手段で説明する手立ての工夫
  - ・自分で選択した知識や方法を活用し、共に考えを創り上げる学習活動の工夫
- (3) 深い学びの視点から.....
  - ・必要な情報を選択し、関連付けて、自分の考えを作り上げる手立ての工夫
  - ・可視化した互いの考えを分類、比較、関連付けながら話し合い、考えを深める手立ての工夫

## 8 研究推進の方法

- ・計画的な全体研修会により、教職員の指導力の向上、指導方法の工夫、教材開発等について研修する。
- ・県の「ICTを活用した授業改善事業」の推進校（研究指定校）として、市教委及び県教委からの指導・助言を仰ぐ。
- ・長期休業ごとに各自の実践の成果と課題をまとめ、検証改善を行う。

## 9 研究組織図

